

cosmoとは、

宮一生の一人ひとりが、自分の生き方、在り方をしっかり考え、それぞれの将来の目標にむかって進んでいけるよう応援する進路部からのニュースレターです。

特集1 「社会人講演会」5月20日（総学）講師《東北電力株式会社 顧問 竹内直人氏》
「皆さんに伝えたいこと～東日本大震災を経験して～」
素晴らしい感想が多数ありましたので、前号に引き続き今回も掲載します！

理性的にうまく世間を生きていくための術を今まで考えてきましたが、今回言葉として聞き、とても納得できました。

大きな決断を直感的に進むのは勇気がいるとは思いますが、自分の直感を信じてみます！ちまちま考えません！

最後は衝撃的でした。大震災後、私にできたことがあれだけだったとは今考えるとと思いません。これから、もう少しできることについて考えようと思います。（3年次）

私が印象に残った言葉は「自分を他人化し、他人を自分化すること」です。私は中学校の卒業文集に「他人の人生を自分の人生以上に大切にできる人間になりたい。」とつづりましたこの目標を達成するためにはやはり相手の気持ちを読み取り、よく理解しなくてははいけません。感情が高ぶっている時には、自分中心になり、周りが見えなくなってしまいがちですが、そういう時だからこそ「自分を他人化」し冷静に自分のあるべき姿をよく見つめ直す必要があると思います。（1年次）

震災の私たちが知らない話、警察官ならではの視点でお話をしていただき、驚くことが多かったです。震災が起こった裏では警察の方々が沢山動いて工夫して支えて下さっていたことを知り改めて、それが私たちが安心したり、心の支えになっていたと思いました。（中略）私は部活で部長を行なっているので、参考になる部分が多々ありました。またつらい事があった時、1日1日と考えるとき、そうだなと思いました。自分の行くことができることは行い、できない時は諦めるという言葉は心に響きました。（3年次）

7年経った今、当時のこと思い返すと、たくさんの人に助けられ、支えられていたことに気づきました。多くの警察官が震災で殉職し、多くの方々が犠牲になったと知り、今自分がここで生きてられるのは本当に恵まれたことで、生きてくても生きられなかった人の分まで、しっかりと生きていかなければならないのだと感じました。また、「志を持つ」ということの大切さについても改めて学ぶことができました。「志」は持ち、習慣にし、維持することで夢につながっていくのだと思いました。常に原点（立志）を確かめながら進んで行きたいです。（1年次）

父が自衛隊なので父のことも心配でなりません。多くのメディアで警察や自衛隊などの活躍を見て本当に感謝の気持ちでいっぱいです。改めてありがとうございました。私は今日の竹内さんのお話で印象に残った言葉は、「他人を助けることは、自分を助けること」という言葉でした。私は将来ウェディングプランナーになりたいと思っているので、「他人を幸せにすることは自分を幸せにする」と思えるように頑張らなくてははいけないと感じました。（2年次）

進路についてのお話は沢山の名言が聞いてよかったです。自信がなかったり、落ち込んだりすることが私はよくありますが、今日聞いた「何とかなるし、何とかする」という言葉を思い出して前向きに考えていきたいと思いました。「大きな決断であるほど直感的に」ということも、これから進路を決定していくうえで大事にしたいです。（2年次）

特集2 東北大学オープンキャンパス

7月31日（火）、8月1日（水）の2日間、川内キャンパス、青葉山キャンパス、星陵キャンパスで開催されました。1年次生は、「総合的な学習の時間」の一環として参加しました。

以下は「理系学部」に参加した生徒のレポートより抜粋です。文系学部は次回特集します。

薬学部 今回見学した実験は、医薬製造科学分野の「最先端の有機化学合成」です。そこでは、狭い部屋の中に、たくさんの実験器具があって、学生さんたちはその部屋で朝9時から、だいたい夜の10時まで研究をしているそうです。また、自然界には医薬品と成り得る生物活性を示す化合物がたくさんあって、その化合物の中でも複雑な骨格を持つ微量しか手に入らないものは、創薬研究において重要になっており、効率的な合成法の開発が求められているそうです。

医学部 東北大学の理念である「研究第一」に

もあるように、世界にも通用する研究者を育成しようという印象を強く受けました。大学生は皆、一流の研究者を目指しているそうです。最も記憶に残っているのは11時ころに受けた模擬講義です。その講義は主に3つの内容でした。1つ目は、眼科学の魅力についてです。そこでは、目は大切で高い需要があるということを書いていました。（中略）2つ目は眼科は全身とつながっている神経、血管、自律神経系を介しているいろいろな診療科の役に立つということがわかりました。最後に、生活に直結する目を守る眼科医は社会に役に立っています。失明を防ぐために治らない病気を治すためには、研究によって新しい治療開発が必要だということがわかりました。

農学部 青葉山コモンズ大講義室で、「イネを用いた遺伝子の調べ方と使い方」という模擬講義を受けた。椅子が映画館のような作りできれいな場所だった。話をしてくださった先生は、農学部のマスコットのお米ちゃんの話とポケモンと絡めて高校生にも分かりやすいように、楽しく話をしてくれた。米に興味があるのでこのような話を聞いてよかった。

工学部 ●化学・バイオ工学 研究室見学をした。光触媒、すす、遺伝子組み換えについての研究だった。一応志望していたところだったのでまあまあ面白かった。●材料科学総合 金属、セラミック、ソフトマテリアルについての研究室公開。医工学に興味を持った。ソフトマテリアルでは抗がん剤をある素材で包んだりしてより効率良く薬を届けられるようにするといった研究をしていた。また、摩擦攪拌接合を使った金属の接合を研究している研究室もあった。あっ、楽しい。●機械知能、航空工学 AI、アルゴリズム、エネルギーを上手く活用する方法、医工学などいろいろ見てきた。研究室の方曰く、「機械知能は入り口が広くて出口も広いよー基本的に」確かに色々な分野があって、中でも医工学が私に合いそう楽しそう。●電気情報物理工学 なんととっても生物型ロボット。実際に飼って動きをしっかりと模倣して造る。

